

『うつ病発症、休職、復職における一考察』 事後抄録

演題番号：口頭発表 〇ー 1 〇

湯浅 和彦

子ども家庭教育フォーラム

コンピュータ運用管理会社業務で従業員が「うつ病」を発症し、従業員との関わり合いの中、「職場のメンタルヘルス」の重要性を強く感じ、様々な対応をしてきた。

しかし、「復職後の再発」という、新たな問題、現実を目の当たりにすると、いかに発病以前の状態で働く事が困難であるか考察できる。

また、従業員である本人も「病気を治したい」という思いと、生活のため休むことも儘ならない現実との狭間で葛藤を抱えている。会社、職場も、病気を抱えた本人との関わりや対応に悩んでしまう。

会社や従業員は「何が起きているのか」、「何が問題か」と戸惑うばかりである。会社で起きた事例を学びとし、企業として、一個人として「何をすべきか」を模索し続けている。今後も日常での「職場のメンタルヘルス」の実践と研究を深め続ける事が必要である。

また、如何に発病した従業員と関わりや対応をするには、人間関係を大切にすることも重要と考える。